

津波ハザードマップ 全体図

この津波ハザードマップは、岡山県が平成25年3月に公表した「南海トラフ巨大地震（マグニチュード9.1）」による津波浸水想定区域をもとに作成したものです。

ハザードマップの中で5段階の色分けで示している津波浸水深は、それぞれの場所ごとに、津波により水面が最も高い位置に来たときの、地面から水面までの高さのことです。

津波の高さは、平常時の潮位に、地震で発生した津波の高さを加えたもので、海拔で表示します。

津波高＝平常時の潮位＋発生した津波の高さ

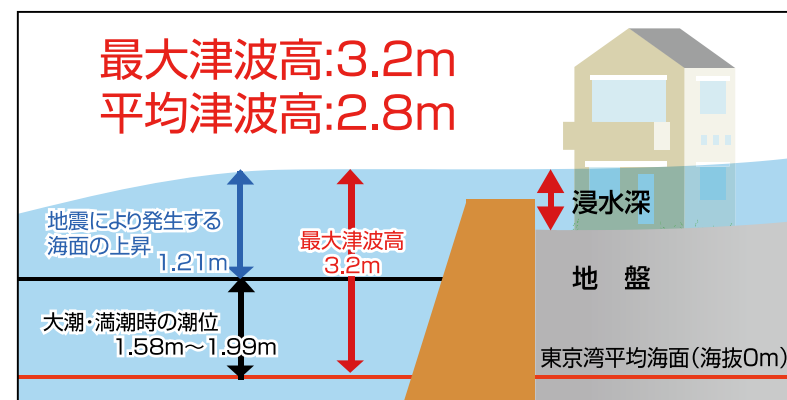
本ハザードマップを作成するにあたり、算出した最大の津波高は、大潮・満潮時の平均の潮位を本市では、海拔1.58m～1.99mとして、それに地震で発生した津波の高さを加えました。

最大の津波高＝大潮・満潮時の平均潮位（朔望平均満潮位）＋発生した津波の高さ

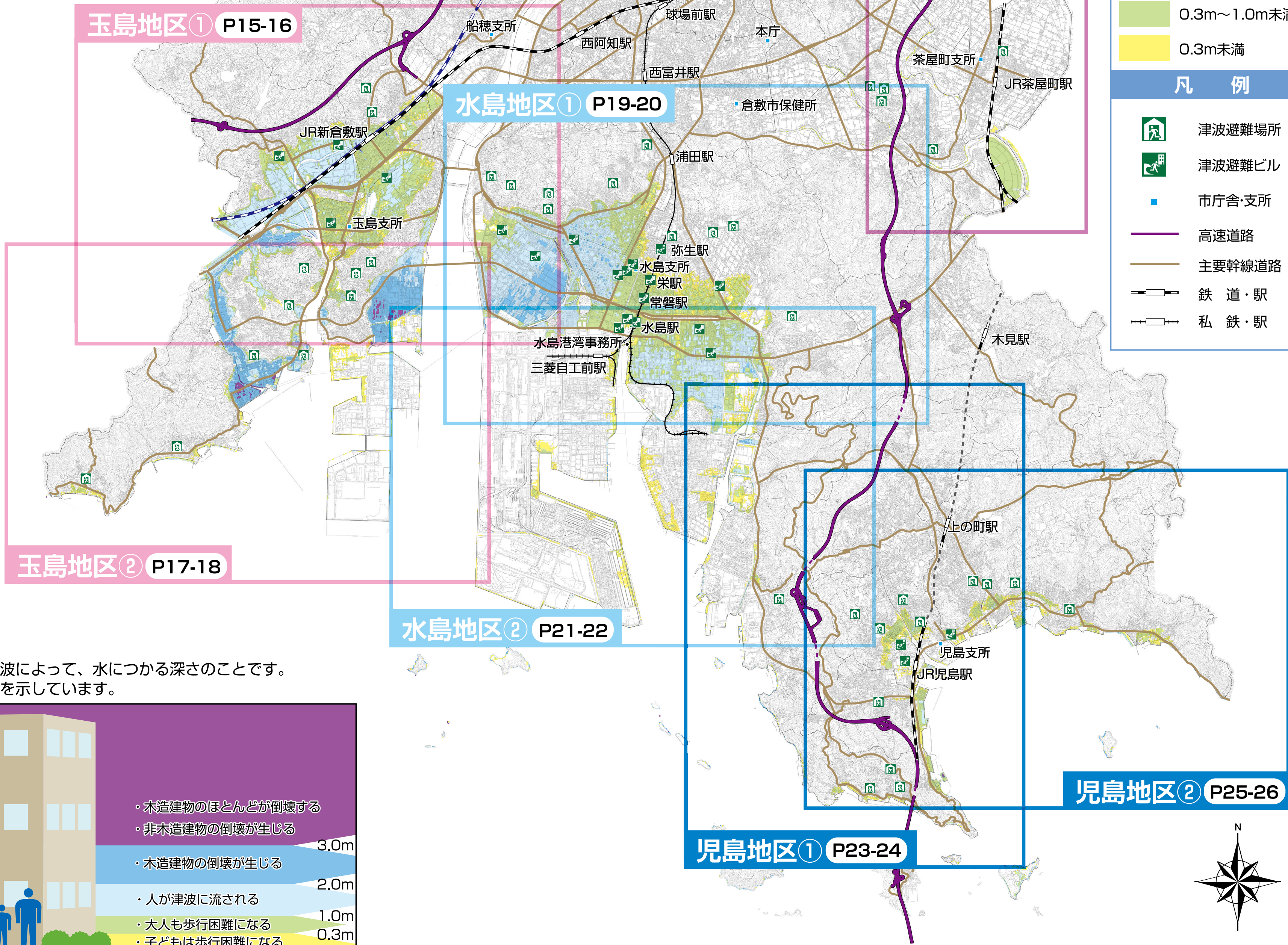
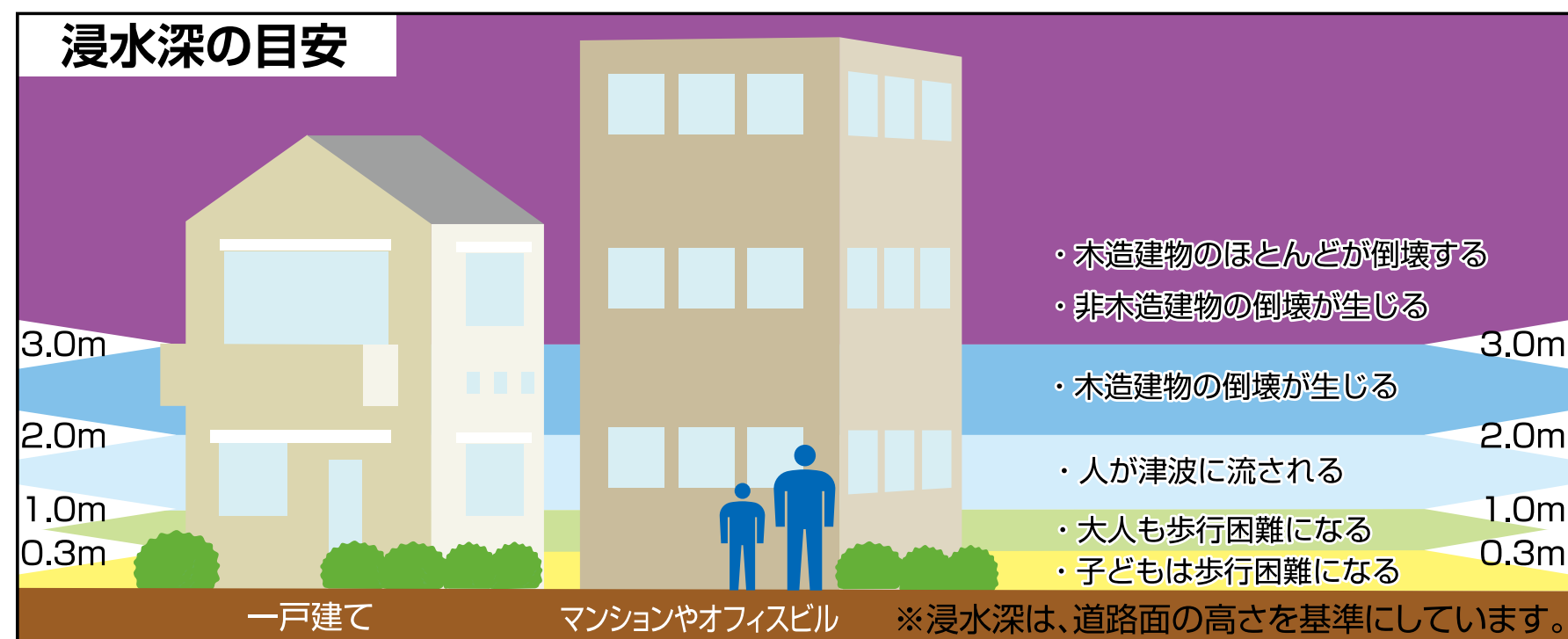
この結果、沿岸部の平均津波高は、海拔2.8m、最大津波高は海拔3.2mと想定されます。

なお、想定する条件として、護岸・防波堤は、地震によりすべて破壊され、海岸にある堤防は、高さの75%が地震で沈下し、津波が越流したときは、破壊されるものとしています。

※大潮・満潮の潮位は、各月の最高満潮面の5年間の平均値（朔望平均満潮位）としています。



■浸水深とは 浸水深とは、発生した津波によって、水につかる深さのことです。場所毎で、最大の浸水深を示しています。



津波浸水深

3.0m以上
2.0m～3.0m未満
1.0m～2.0m未満
0.3m～1.0m未満
0.3m未満

凡 例

	津波避難場所
	津波避難ビル
	市庁舎・支所
	高速道路
	主要幹線道路
	鉄 道・駅
	私 鉄・駅